

経営比較分析表

岐阜県 飛騨市

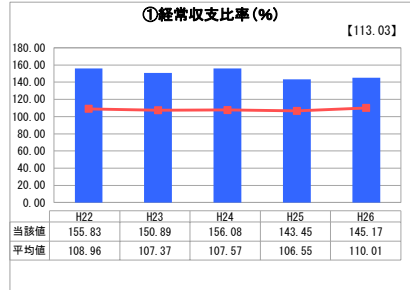
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	85.96	68.67	2,484

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,903	792.53	32.68
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,654	11.75	1,502.47

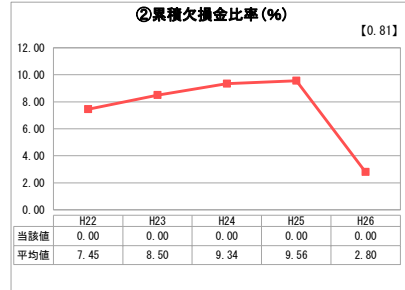
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

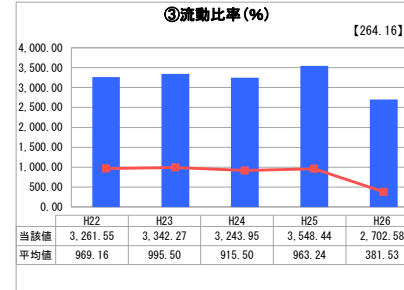
1. 経営の健全性・効率性



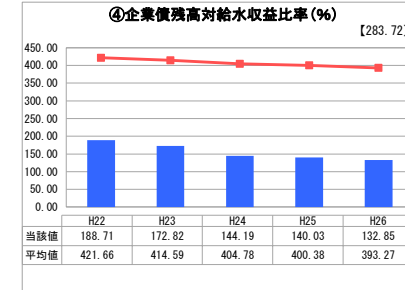
「経常損益」



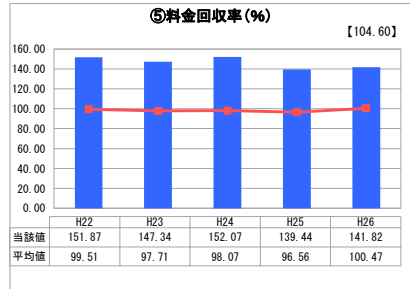
「累積欠損」



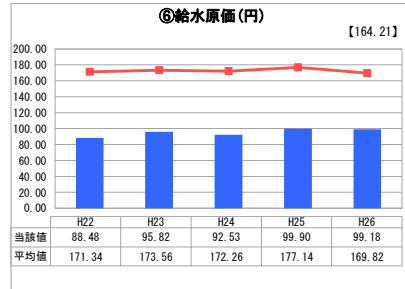
「支払能力」



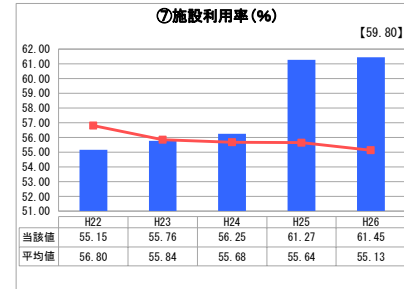
「債務残高」



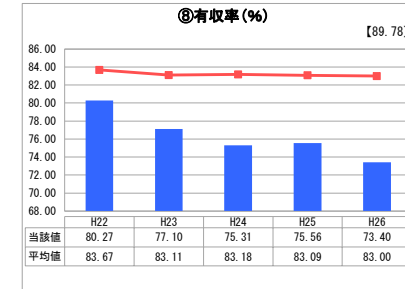
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

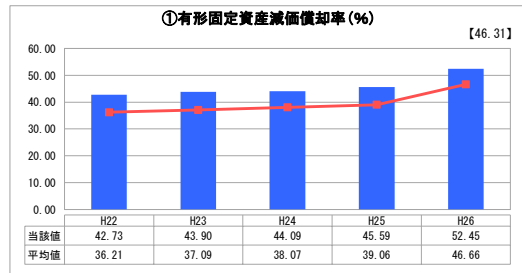
1. 経営の健全性・効率性について

上水道事業における経常収支、料金回収率は、いずれも類似団体や全国平均と比較しても高い数値にて推移しており、経常収支における赤字である欠損金の発生もなく、現在の経営成績は良好であるといえます。また、企業債の償還に対する支払い能力を示す流動比率についても高い数値となっており、近年新たな企業債の借入等は行っており、元金償還を含めた資本費についても留保資金等により賄うことができており、企業債残高も減少しています。料金回収率が高いことから、使用料金の設定が高いとも考えられますが、平成28年度より簡易水道事業を上水道へ経営統合することとしており、これらの経営状況は大きく変動することとなり、経常収支や料金回収率も大幅に減少する見込です。また、有収率については簡易水道事業と同様に、平均を大きく下回っており、漏水等の調査を継続的に行っていく必要があります。

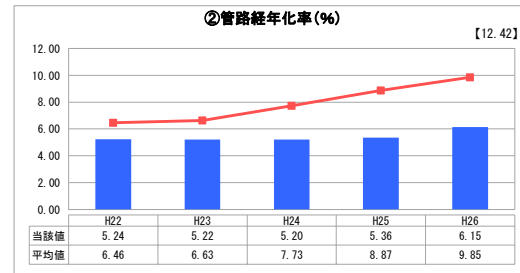
2. 老朽化の状況について

資産の老朽化度合いを示す減価償却率は年々増加しているとともに平均を上回っており、法定耐用年数を超過した管路の経年化率の増加とともに、更新が必要な資産が増加しています。管路の更新率は年度によりばらつきはあるものの、平均と比較しても低いいため、老朽化資産の特定を行い、計画的に更新を進めていく必要があります。

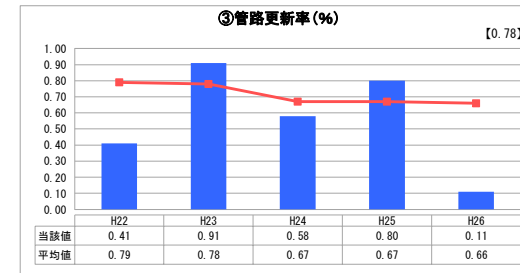
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体総括

簡易水道事業を含めた水道事業全体の施設更新需要を正確に把握し、施設の更新計画を早急に策定するとともに、今後の人口減少等に伴う給水収益の減少、施設の統合、長寿命化などを盛り込んだ、長期的な経営見通しに基づく経営戦略や、新たな水道ビジョンの策定を進め、将来にわたって飛騨市の水道事業が安定して安心な水を供給できるものとして事業経営を進めていきます。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。